施策の名称	E.
(めざす姿) 河川・水路等の整備が進み、市民が安心して生活できています。  基本目標 2「自然と社会が調和する環境共生都市」をめざして 施策担当マネージャー 都市建設部次: 政策 22快適な暮らしの環境をつくります マネージャー氏名 貞方 敦雄  I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)  ①前回 施設の整備には多くの時間が必要である ため、現時点で可能な対策を実施すること、さらに適正な維持管理を行うことで、水 害被害の軽減を図っていく必要がある。  ③改革・改善・改善・改善・改善・改善・改善・ 第五方 2000 で可能な最も効果のある箇所で可能な最も効果のある箇所で可能な最も効果のある箇所でで可能な最も効果のあるる箇所でで可能な最も効果のあるる箇所のでで可能な最も効果のあるる箇所のでで可能な最も効果のあるる箇所のでで可能な最も効果のあるる	Ē
政策 22快適な暮らしの環境をつくります マネージャー氏名 貞方 敦雄  I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)  ①前回 施設の整備には多くの時間が必要であるの評価で掲げた内容 によるに適正な維持管理を行うことで、水 害被害の軽減を図っていく必要がある。  ②改革・改 で可能な最も効果のある箇所ので可能な最も効果のある箇所ので可能な最も効果のある箇所ので可能な最も効果のある箇所のでで可能な最も効果のある	Ę
I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)  ①前回 施設の整備には多くの時間が必要であるの評価 ため、現時点で可能な対策を実施することで、水 と、さらに適正な維持管理を行うことで、水 害被害の軽減を図っていく必要がある。  ③改革・改 ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	
①前回 施設の整備には多くの時間が必要であるの評価 ため、現時点で可能な対策を実施するこで掲げ と、さらに適正な維持管理を行うことで、水 害被害の軽減を図っていく必要がある。 3改革・改 3改革・改 3改革・改 3 改革・改 3 公本・公 3 公 3 公本・公 3 公 3 公 3 公 3 公 3 公 3 公 3 公 3 公 3 公 3	
の評価 ため、現時点で可能な対策を実施するこで掲げ と、さらに適正な維持管理を行うことで、水 た内容 害被害の軽減を図っていく必要がある。 3 改革・改 3 公本・公 3 改革・改 3 公本・公 3 公 3 公本・公 3 公 3 公 3 公 3 公 3 公 3 公 3 公 3 公 3 公 3	
②①に	や手法 維持管
Ⅱ 施策の目的・概要	
①目的 対象 河川や水路、地域排水施設、雨 意図(対象をどう 施設の整備を行うとともに、適立するのか) に関し、浸水被害を軽減する。	Eに維持
②施策の概要 河川や水路、地域排水施設、雨水貯留池、雨水浸透桝等の整備や適正な維持管理 治水安全度を高め、市民が安心して暮らせるとともに、水辺に親しめる環境を創造す	
③環境分析(状況変化 や今後の見込み・市民意 向など) 都市化の進展や集中豪雨などの気象状況変化により、雨水の流出量が増加し、河ノ 設能力を超えるようになった。大雨に強いまちづくりへの市民要望が多い。今後、下海 整備が進捗した地区では、将来形での整備が可能となる。	
Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況	
<ul> <li>・準用河川ニ和川バイパス整備工事、準用河川ニ和川護岸改修工事</li> <li>・鎌ケ谷ニ丁目地区地域排水整備工事、道野辺中央五丁目地区地域排水整備工事、馬込沢地区排水が工事、浸透桝設置モニター工事</li> <li>・南初富二丁目貯留池整備工事</li> </ul>	ポンプ設置
指標名称 単位 平成28 平成29 平成30 年度 年度	目標値 (2年度)
②施策 i 浸水面積 ha 123.5 123.5 123.5 成果指 ii 浸添粉乳等倒粉	121.1
<del>                                    </del>	7,800
iV : IP: 即 : IP: 即 : IP: 即 : IP: IP: IP: IP: IP: IP: IP: IP: IP: IP	40.160
i 貯留量   m <sup>3</sup>   40,421   40,421   41,521   ii   河川・水路に対する満足度(市民意識調査)   %   —   —   16.1	40,160 15.0
	13.0
③基本 iv iv	
③基本 iv	
③基本 事業成 V	
③基本 事業成 果指標 Vi Vii Viii	
③基本 事業成 果指標 Vi Vii Viii Viii ix	
③基本       iV         事業成果指標       Vi         vii       viii         viii       viii         ix       平成29年度決算 平成30年度決算 市民一人あたり事業費(30年度決算) 令和元年	
③基本 iV 事業成 V 果指標 Vi Vii Viii ix Viii ix Pix (30年度決算 平成30年度決算 市民一人あたり事業費(30年度決算) 令和元年事業費(千円) 173,006 559,765 (単位:円) 5,117 円	E度予算 684,564
③基本       iV         事業成果指標       Vi         vii       viii         viii       viii         ix       平成29年度決算 平成30年度決算 市民一人あたり事業費(30年度決算) 令和元年	
③基本 事業成 果指標 vi viii viii ix ④施策の事業費 平成29年度決算 平成30年度決算 市民一人あたり事業費(30年度決算) 令和元年 事業費(千円) 173,006 559,765 (単位:円) 5,117 円	684,564
③基本       iV         事業成果指標       vi         viii       viii         ix       viii         4施策の事業費       平成29年度決算 平成30年度決算 市民一人あたり事業費(30年度決算)令和元年事業費(千円)         173,006       559,765       (単位:円)       5,117 円         IV 評価・検討         ①課題(目的に対す       施設の整備と維持管理のための財源確保や地棒者のご理解が必要である。	684,564 。 こは至
③基本 事業成果指標 Vi Wiii ix       vi Viii viii ix       マ成29年度決算 平成30年度決算 市民一人あたり事業費(30年度決算) 令和元年 事業費(千円) 173,006 559,765 (単位:円) 5,117 円         IV 評価・検討       1課題(目的に対する現状など)       施設の整備と維持管理のための財源確保や地権者のご理解が必要である。 の理由 のまたしたものの目標値の達成しらなかった。浸透桝設置については引き続きる。	684,564 。 こは至
③基本事業成果指標       v         収       vi         ψii       viii         事業費(千円)       173,006       559,765       (単位:円)       5,117 円         I 課題(目的に対する現状など)       施設の整備と維持管理のための財源確保や地権者のご理解が必要である。         ②総合評価       3一部未達成の理由       高水貯留量は上昇したものの目標値の達成によっていく必要がある。	684,564 。 こは至
③基本 事業成 Vi 果指標 Vii viii ix       V Viii viii ix       マ成29年度決算 平成30年度決算 下民一人あたり事業費(30年度決算)令和元年 559,765         事業費(千円)       173,006       559,765       (単位:円)       5,117 円         IV 評価・検討       施設の整備と維持管理のための財源確保や地権者のご理解が必要である。 3総合評価 の理由       雨水貯留量は上昇したものの目標値の達成にらなかった。浸透桝設置については引き続きていく必要がある。         V 今後の方向性	684,564 。 こは至 啓発し